



山ノ内町立

山ノ内中学校 学校だより

令和7年5月1日



【学習に関するオリエンテーションを行いました】

前号でも触れましたが、令和7年度の中学校生活も本格的に始まり、学習オリエンテーションが開かれました。まずは、今年度より生徒の主体性を伸ばしていくために導入したフォーサイト手帳のオリエンテーションについて報告します。

<フォーサイト手帳オリエンテーション>

本校の**学校教育目標**である「**確かな学力や生きる力を育み、ふるさとに誇りをもつ生徒**」を実現する上で、「**主体性**」を伸ばしていくことは**とても重要**です。フォーサイト手帳は、従来の生活ノートではあまりなかった「目標を定め」「目標に向けてやることを整理して計画をし」「その実行をする中で改善点を見出し」「再度目標を定めて計画・実行をする」という要素が充実しており、生徒が主体的にPDCAサイクルを作っていくことをサポートするツールです。

全校導入するにあたり、昨年度2学年で先行導入した結果「時間を意識するようになった」「忘れ物が減った」「やるべきことができるようになった」等の項目で**6～7割の生徒に良い変化**が見られ、生活ノートよりも生徒の成長に効果的と判断し、今年度の全校導入(公費)に至りました。

日課の中にも「プライニングタイム」と題した活用時間(朝学活・帰学活の前)を位置づけ、まずは学校生活で手帳の存在を当たり前なものにすることを目指しています。そのため、現在は教員による回収や声掛けを積極的に行っている段階ですが、**各自で異なる進路の目標をもつ3年次には、教員のチェックが無い中でも自分の目標に応じた活用ができるように育てていければ**と考えています。

また、定期テストの学習計画もフォーサイト手帳を通して行っています。テスト範囲表を全校統一の様式に変え、範囲に合わせた「やること」「優先順位」「期限」を範囲表に記入した上で、手帳に書き込んでいくという方式です。授業では学習内容の理解に重きを置いているため、知識等の「定着」まで見届けることは難しいのが現状です。そのため、**手帳を活用して計画的にテスト勉強(家庭学習)を行う**ことで、テストでも目標が達成できる自分に近づけてほしいと思います。中間テストまで約3週間です。

既に全校で活用を始めていますので、是非**ご家庭でもお子様の手帳の活用の様子をご覧いただければ**と思います。

自分の人生は自分で切り拓く！だからこそ...

目標(目的)をもち、
何をすべきか**計画**を立て、**実行**し、
振り返り、次に生かし、**目標達成**に近づける

そんな学校生活を実現してほしい！

今後の流れ

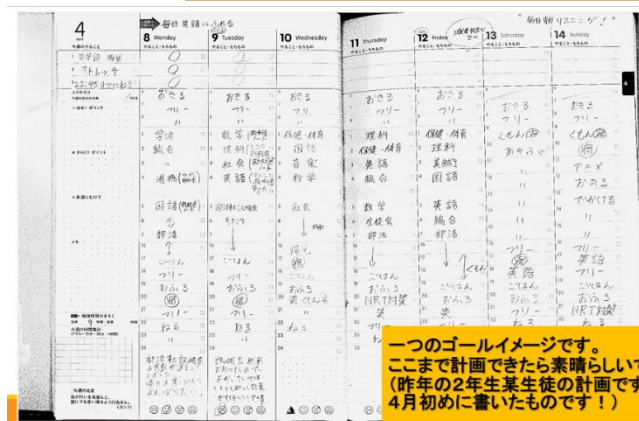
- 記録
 - 1年目1学期～: 毎日の内容を「記録」して、自分の生活リズムを可視化し、改善の土台を作る(現在・1～2年)
- 計画①
 - 1年目2学期～: 自分の過ごし方を把握した上で、目標を立て、望ましい1日の過ごし方を考える
- 計画②
 - 2年目2学期～: 中長期的な目標に基づく週の目標を意識し、1週間分のスケジュールに挑戦

学校生活の中での活用について

【プランニングタイム(朝)】
全員机の上に手帳を出して、1日の予定を確認します。(未記入のみ) 前日の振り返りを記入します。手帳の提出をここでする場合もあります。

【プランニングタイム(帰)】
全員机の上に手帳を出して、
①今日のタスクを確認(宿題等)
②明日の持ち物を確認
③帰宅してから予定を立てる

学年	月	日	予定
1年	5	1	8:15～8:25
2年	5	1	8:25～8:35
3年	5	1	8:35～8:45
1年	5	2	8:45～9:35
2年	5	2	9:45～10:35
3年	5	2	10:45～11:35
1年	5	3	11:45～12:35
2年	5	3	12:35～13:35
3年	5	3	13:35～14:25
1年	5	4	14:35～15:25
2年	5	4	15:35～16:25
3年	5	4	16:35～17:25
1年	5	5	17:35～18:25
2年	5	5	18:35～19:25
3年	5	5	19:35～20:25



一つのゴールイメージです。
ここまで計画できたら素晴らしいですね。
(昨年の2年生某生徒の計画です。なんと4月初めに書いたものです！)

昨年の2年生の様子です
できる子は4月にここまで使いこなしていました

定期テストに向けた心構え

テスト直前・・・
あー、今日はなんだかやる気がなくて勉強できなかった。
昨日も部活が忙しくてできなかったし。
テストまであと3日しかないよー。

計画通りにいかないこともあったけど、やらないといけないところはしっかり勉強できた！
残り3日で最後の復習をしておこう！

手帳を活用したテスト計画の立て方

- ①試験範囲等を読み、「やること」を立てて、「優先度」「期限」を設定し、見通しをもつ

枠がないので、ここに目標を書く
やることを挙げ、優先度や期限を設定し、学習が確実に進むように整えていく。

手帳を活用したテスト計画の立て方

- ④(③位置づけたことが)実際にできたかどうかチェックボックスに☑を入れる

できたかどうかは「正直に」書きましょう。実際はやっていないのに☑を書かれると適切なサポートができません。

続いて、日々の家庭学習の大切さを伝えるために行った「学習オリエンテーション」について報告します。

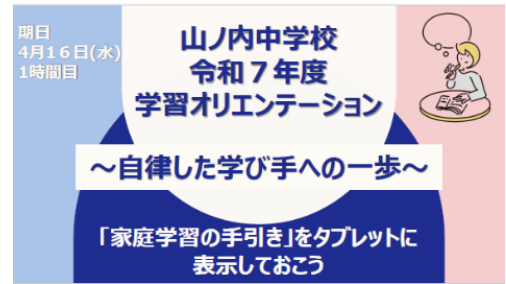
<学習オリエンテーション>

学習オリエンテーションでは、「自律した学び手への一歩」と題して行いました。昨今、AIが急速に発達し、AIを活用することで様々な面で効率化が図られるようになりました。しかし、そうした中でも最終的な人間の手による調整が発生することはもちろん、「AIにどのように命令する(プロンプトを与える)か」という部分で、「**自分の頭の中で考える**」作業は必ず発生します。そのため、多くの部分でAIを含むテクノロジーの手を「借りる」ことはあっても、「全てを委ねる」ことはできないと思うのです。

そこで大切になる「**自分の頭の中で考える**」という部分でベースになるのが「**知識(経験)**」になります。考えは何もないゼロから突然生まれるわけではなく、自分の頭の中にある無数の知識が無意識下で結びついた結果生まれます。つまり、考える上で知識の存在は不可欠なのです。知識が頭の中に多くあるほど、結びつくものも増え、より豊かなアイデアが生まれる可能性が高まります。だからこそ、その**知識を定着させる「家庭学習」はとても大切**になるのです。

もしかすると「今は何でも検索して情報が得られるから知識を自分で覚える価値はそんなにないんじゃないか」と思う人もいるかもしれません。しかし、それは違うと考えます。例えば「乍ら」という漢字の読み方を調べたいと思った時に「**作の部首 読み方**」というように、「乍」が「作」という漢字の一部であることを知らなければ、うまく「乍」の読み方を検索することは難しいでしょう。先ほどの「どのようにAIに命令するか」という部分と同じように、検索や命令をする上で基本的な知識は必要だということが分かるでしょう。そもそも災害等で十分に検索が使えない場合は困ってしまいますね。

さて、**家庭学習を効果的に進める上で重要になるのは、「できないことをできるようにする」という思考**です。授業では身に付けきれなかったことを補完するのが家庭学習なわけですから、既にできることを行ってもあまり効果はありません。授業で課された課題(=宿題)についても同じような思考で臨んでもらいたと思います。つまり、「**身に付ける(理解する)**」ことが重要であり、「**提出する(やる)**」こと自体が**目的ではない**ということです。そして、自分にとって家庭学習として何が必要になるかということは人によって異なるため、家庭学習の方法もまた人によって異なるのです。オリエンテーションで示した各教科の例を参考にしながら、「**自分にとって必要だから行う・自分に合う形で行う**」家庭学習を目指してほしいと思います。



導入～考えることと知識の関係～

・「自分の頭で考えること」という行為において、**ベースになるのは自分が持つ知識**です。

・アイデア(=考え)は、急にふっと頭にわいてくる偶然の産物だと思われがちですが、違います。**今までの様々な経験(=知識)が絡み合って回路を形成し、それによってアイデアが発生します。**

家庭学習の重要性

この知識を定着させるのが

「家庭学習」なのです!!

授業では、理解を重視するため、それを確実な知識として定着するほどの時間は確保できません。(授業で学んだことを忘れず覚えていられるならいいですが...)

家庭学習の在り方

大前提① **できない(覚えてない)ことをできる(覚える)ようにする**

【「1 + 1」を解く・漢字練習で「一」を書きまくる】
↑
これをやって力は高まりますか??

家庭学習の在り方

大前提③ **効果的な学習方法は人それぞれ**
⇒自分に合った学習方法を見つけよう

「何ができて、何ができないか」が人によって異なれば、自然と「どう学習するか」も人によって異なってきます。

**宿題があるからやるではなく、
「自分に必要だからやる」
学習にしよう!**

国語科 ワークブックについて

- ・ワークブックでは、授業で読解した本文を問題形式で復習できるツールです。
- ・読解は暗記ではありません。**高校入試では、授業で扱われた本文が出題されることはまずありません。**
- ・つまり、定期テストのためにワークブックの答えを暗記することは全く意味がありません。
- ・**解説を熟読し、「なぜ間違えたのか」「どうしてこの答えが正解なのか」を意識しながら取り組みましょう。**

数学科 勉強のサイクル

授業 → 練習問題 → まとめ → テスト
↑
テスト ← まとめ

- ・授業で問題を解く。わからなかった問題や混乱してしまうのをノートに書いて整理。
- ・授業を受けながら、**前よりさらに理解が深まった点**を、つまりその日に受けた**感動**をノートに書き加えます。その日の感動はその時だけ。書き残しておきましょう。

話を冒頭のドラゴンクエストに展すと

- ①主人公の勇者は、大魔王を倒す大旅に出る
- ②旅の途中、大魔王を倒すために必要な伝説の武器や防具を集める
- ③また、モンスターとの戦いの中で経験値を積み武器を使いこなせるようになる
- ④大魔王を倒し、世界に平和が訪れる

①主人公の勇者→あなた自身・大魔王→定期テスト

③経験値を積み武器を使いこなせるようになる→授業や家庭学習を通して、社会的な事実や重要語句について理解を深める

④大魔王を倒し、世界に平和が訪れる→定期テストで自分が納得する点がとれる

各教科の学習方法に関する資料(抜粋)
日々の学習のヒントになればと思います